

歴史街道にかける鳥の巣箱作り

安来市宇賀荘交流センター

1 宇賀荘交流センターの概要

宇賀荘地域には約 470 世帯があり兼業農家が多い農村地帯である。清水寺、雲樹寺等の歴史ある文化に恵まれた土地柄ではあるが、44 年前に小学校区が三つに分割され、そのうえ伯太川により分断されている地理的な環境にある。幼稚園は休園し、小学校は全校児童 44 名の複式学級で、少子高齢化しているため、住民相互のふれあいや連携を図ることで地域の活性化を進めている。

2 事業の概要

(1) 事業のねらい

小学生が地域の大人や若い親世代の人と関わり、地域の歴史文化を学び体験することをおして、ふるまいの向上・定着を図る。

(2) 具体的な取組〔※内容、活動状況など〕

宇賀荘地区には文化庁の「歴史の道百選」に選ばれた古道があるが、近年通る人もなく、荒れ果てていたため、地元の有志により数年前から修復作業を行なっている。この古道を広く地元の方に知っていただくために、今回は小学生 5、6 年生を対象にした歴史街道にかける鳥の巣箱作りを平成 26 年 11 月 8 日（土）に宇賀荘交流センターで開催した。



巣箱作り



歴史街道の木に取付け

当日は、小学生 14 名、巣箱作りの講師として地域の大人 7 名と小学校の先生 2 名、交流センター職員 3 名の参加で、鳥の巣箱を手作りした。慣れない大工道具を前に苦戦しながらも各チームオリジナリティー溢れる巣箱が出来上がった。その後、子ども達の名前を書いた巣箱を持って歴史街道に向かい自分たちの手で取付けた。観察のしやすいように街道沿いの木に取付け、子どもたちが見に来ることができるようにした。

3 事業の成果と課題

(1) 成果

普段、小学生と地域のお年寄りや若い親世代の人が接することは少ないが、一緒に巣箱を手作りすることで、若い親世代を含めた幅広い年代の方とコミュニケーションが図られた。それぞれがあいさつやお礼、声掛けなどを尊重しながら、モノづくりの大切さを学ぶ良い機会となった。歴史街道に巣箱を取付けに行くことで、地域の歴史に触れ、自分たちの名前を付けた巣箱を自分たちの手で取付けたことで地域に愛着を持って、観察してもらうことができた。

(2) 課題

2 年前にも巣箱を取付けたが、かなり山の上まで上がった場所で、その後、鳥の観察をするというところまでは至らなかった。今年度は観察しやすい場所に取付けたが、観察する機会を設けるようにするなどの工夫が必要である。

4 今後の取組等

これからも 2 年に 1 回、3 校区の子どもたちに呼びかけ巣箱を手作りし、鳥の観察をする機会を設けて、地域ぐるみで「歴史街道にかける鳥の巣箱作り」を継続した活動として取り組んでいく。